



第15回例会報告 *通算例会回数4085回目* (10月28日於 今治商工会議所2階 大会議室)

【出席報告】

・会員数	55名	・出席数	35名	・欠席数	17名
・当日出席率	70.00%	・前々回修正出席率	88.89%		

<欠席会員>青野(淳)、原、平田、廣川、菅、吉良、小堀、宮道、大河内、坂本、渡辺(仁)、八木(正)、八木(真)、八木(伸)、米北〔免除会員〕檜垣(巧)、村上
 <10/14 欠席補填>(9/25 米山協議会)田中 (10/18 今治北)楠橋
 ※メイクアップしなくても、個人の出席率には影響しません。

◇入会式:株式会社愛媛銀行 今治支店長兼ローンセンター長 中村哲也 (なかむら てつや) 氏の入会式が行われました。

◇幹事報告:米山記念奨学会より、重松会長へ米山記念感謝状が届きましたので贈呈しました。



地区大会報告～10月23日(土)高知県立県民文化ホールにて～

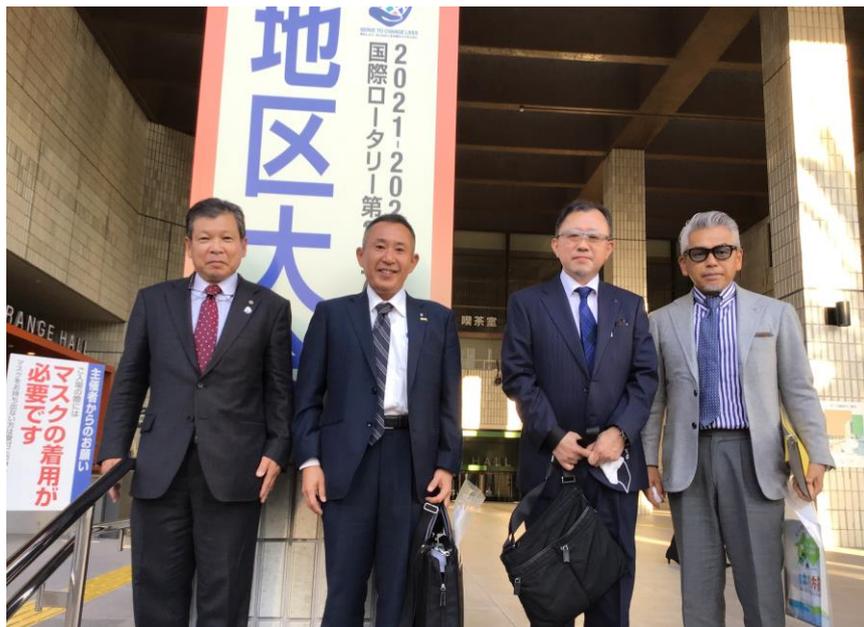
◆辰巳和久副会長【基調講演について】:今回はロータリー歴63年の高松南RC所属太田英章パストガバナーによる『ロータリーって一体何だろう。その源流と行く末』と題した基調講演で、ロータリーのあれやこれや、よもやま話を中心としたお話でした。(以下講演内容)▼まず、ロータリーと言えば必ずポールハリス氏・米山梅吉氏という話になります。ポールハリス氏は、心から信頼できる友を求めてRCを設立しました。ロータリーの原点は『友達作り・フェロシップ』であり、親睦と相互扶助を基本スタートし、そこにシェルドン氏が「商売で利益を上げることを目的にしない、ものを売るのではなくサービスを提供することが必要である」という理念を追加しました。米山梅吉氏は、このサービスを「サービスとは、尽力する事、貢献する事、広い意味で自分の損得を度外視して他人のために尽くす事である」と解し、『奉仕』と訳しました。▼日本では1920年に東京RCが誕生しましたが、当初の東京RCでの活動はやや等閑なものとなっていたようです。しかし1923年の関東大震災で東京が壊滅状態となった折に、アメリカ本土から大阪RCを通じて多額の義援金が送られ、この支援を受け東京RCは「ロータリーとはこんな素晴らしい会なのか」と再認識し、その後しっかりとした会の運営を実施するようになったそうです。▼ロータリーソングの生まれについては、当初ロータリアンから「奉仕・奉仕と堅苦しい事ばかり言うな、俺たちはエンジョイするために入会した」といった意見も多く、よく言い争いになった経緯もあり、「喧嘩ばかりしないで歌でも歌って仲良くしようではないか」ということで始まったそうです。現在では100曲ほどロータリーソングがありますが、合唱が得意ではない日本人は、『奉仕の理想』ばかり歌っているそうです。▼ロータリーは親睦で始まり、奉仕に続くのですが、奉仕だけで終わるものではありません。その先には、『ベネフィット・プロフィット』つまり利益・儲けがあります。日本人は奥ゆかしいのであまり口にしません、アメリカでは、「奉仕をすれば、その結果知らず知らずのうちに利益を得られる。儲けるのではなく、自然と儲かるのである」ということが言われています。▼最後に「これからの日本のロータリーは、RIからの指導に依存するのではなく、自分たちの信念に従って、コツコツと着実に前進していくことが大切である」と締められました。非常にユーモラスで人間味あふれる素晴らしい講演でした。

◆越智大輔幹事【会長・幹事協議会について】:会場は三翠園で行われ、最初に東ガバナー・水野RI会長代理のご挨拶があり、その後行われた各委員会への報告事項は以下の通りです。▼〈会員増強委員会〉会員一人一人が1名を入会していただく思いで取り組む。女性会員の増強しているクラブは活性化しています。〈国際奉仕委員会〉短・長期の交換留学は前年の8月くらいから準備が必要な為、来年度も中止予定。〈青少年奉仕委員会〉2022年5月19日(木)～5月22日(日)第42回RYLAセミナーは小豆島ふるさと村にて開催予定。〈ロータリー財団委員会〉活動分野に①環境の保護②災害支援が追加されました。地区補助金の利用は74クラブ中、50クラブが利用しています。〈米山記念奨学会委員会〉3つのお願い①10月が米山月間となる為、奨学生卓話を1回は必ず実施して下さい。(今治RCの奨学生卓話は2022年1月20日(木)の予定)②寄附のご協力③コロナの影響で孤独を感じている奨学生がいる為、ケアをお願いします。



〈ガバナー事務所〉2022年3月13日(日)PETS(次年度会長)、2022年3月26日(土)地区協議会(関係委員会の方)※連絡があり次第、案内させていただきます。

◆久米操SAA【地区大会本会議について】:前年度の地区大会はリモートで行われたと思いますが、今年度は74クラブの参加で、本会議は土曜日の午後から行われました。1クラブ4人までの制限により、会長、幹事、副会長、SAAの4名での参加となり、会長・幹事が土曜日の朝から会議ということで、4人全員で前日から高知入りしました。▼本会議は定刻13:00に開始し、プログラムの内容的には、コロナ禍前までの土日のプログラムをギュッと絞って、2本あった基調講演を1本したものでした。講演を地区内のパストガバナー太田英章氏にご依頼し、四国外からの来客を制限して行われました。本会議終了は予定時刻の17時半より1時間早く、16時半前後となりましたが、各種表彰式に際し受賞者が登壇せずスクリーンで発表するという形式のため時短になったのだと推察されます。本会議の内容については以下の通りです。▼〈東ガバナー挨拶〉



コロナ禍での縮小大会ではありますが、第2670地区大会が高知市で開催出来たことを幸いに思います。今年度のRI会長シェカール・メータ氏のテーマは、「奉仕しようみんなの人生を豊かにするために」です。行動目標として、「みんなが一人を入会させよう」(Each One, Bring One)特に女性会員の増強に力を入れましょう！ということをお願いします。また2022~2023年RI会長にロータリーの歴史上初の女性会長ジェニファー・ジョーンズがご就任の予定とのこと。▼各プログラムでは①物故会員の追悼(13名)②参加クラブ紹介、新会員紹介(共に映像にて)③ホストクラブ会長による歓迎の挨拶④大会記念事業(四万十川財団への寄付)の発表⑤第2670地区の現況報告として、第2670地区総クラブ数は74クラブ(内訳として愛媛20クラブ・徳島21クラブ・香川18クラブ・高知15クラブ)、2021学年度米山奨学生は25名、マイロータリー加入率は36%⑥昨年度出席優秀クラブ(今治RC7位)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、ポール・ハリス・フェロー、米山功労クラブ(今治RC26回)等の表彰⑦指名委員会報告として、ガバナーノミニ・デジグネート発表⑧次期地区大会開催地発表、次期ホストクラブの高松北RCによるご挨拶⑨RI会長代理による所感(「短縮形式にて開催された大会ではありましたが、とても充実した地区大会であったことをRI会長に報告します」と述べられました。)

◆重松宗孝会長【地区大会総括(懇親会)】:メイン4名で懇親を深めました。会長幹事協議会場の三翠園は、土佐藩主山内容堂公ゆかりの場所で、容堂の別名「鯨海酔候」の通り楽しい夜でした。

次回例会(11月4日)

【ロータリー財団委員会アワー】

<会員誕生日祝> 宮道 勝敏氏 (11/4) 村上 裕一氏 (11/6) 大澤 正尚氏 (11/13)
真鍋 次男氏 (11/16)

<結婚記念日祝> 渡邊 道信氏 (11/4) 真鍋 次男氏 (11/4) 西信 正男氏 (11/9)
神道 裕介氏 (11/11)

〔いわき〕

※出来るだけ11月2日火曜日の16時までに例会欠席のご連絡をお願いいたします。
(11月3日水曜日は、文化の日で事務局お休みの為)
11月4日木曜日当日の欠席連絡は朝9:00までに事務局までご連絡下さい。
皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご協力をよろしくお願いいたします。